

♪楽しく、パソコン・笑って、お仕事♪



## COMPAQ PRESARIO CDTV 528 セットアップから基本操作まで

- 1、梱包を開けたら、「内容物確認リスト」に基づいて中身をチェックする。
- 2、白い箱の「カントリーキット」を開ける。
- 3、中に入っている小箱「ドキュメンテーションキット」を開封する。
- 4、パンフレット「クイックセットアップ」の手順に従って、キーボード・電源・マウス・TV・電話などのケーブルを接続する。
- 5、電源スイッチをONしてパンフレット「クイックセットアップ」最後のページまで進む。
- 6、ビラ「コンパックパーソナルコンピュータの探検」を見ながらマウスを使って「ウエルカムセンタ」（案内版）を訪問する。
- 7、念のためパンフレット「コンピュータのアップグレードと再設定」ハードウェアリファレンスをひと通り読みながら各部の名称と役割を確認するため操作してみる。

**特に、8～10ページの「キーボード」はよく理解すること  
機能（役割）が身につくまでの間は抜き書きコピーして目の前に掲示すると  
よい。**

- 8、引き続きパンフレット「コンピュータの働きを理解する」によりWindowsやTabworksなどのソフトウェア基本の使い方などについて知っておくとよい。
  - 9、コンパックはTabworksにより見出しのあるルーズリーフノートのように見易く、使い易いものになっている。
- ⇒添付小冊子「Tabworks Quick Start Guide」（タブワークス入門ガイド）を読みながらひと通り操作するとよく解る。

**ご安心ください P.P.P**

このパソコンはTabworks上でどんなキー操作・マウス操作をしても壊れません。

96.10.27.

# Windows 3.1 の復元方法

96/5/12

1. パソコンのCDと起動ディスクをセットする。
2. 電源 ON
  - 画面「パソコンのXセ-ン」が出る
3. 矢印キーを押す
  - 画面「復元X=2-」が出る
4. 終了(5)を指定し、5を入力↓
  - 画面真黒「A:羊>」が出る
5. A:羊>の次に fdisk と入力↓
  - 画面「Fディスクのフォーマット」が出る
6. 基本MSDOS領域の削除(3)を指定し、3を入力↓
  - 画面「MS-DOS領域を削除するMS-DOSは削除するMS-DOS領域を削除する (Y/N) ... ? (Y)
7. 基本MSDOS領域の作成(1)を指定し、1を入力↓
  - 画面「基本MS-DOS領域のフォーマットする (Y/N) ... ? (Y)
8. 再起動: 電源OFFし、次にONする (ディスクは入ったまま)
  - 画面: 「パソコンのXセ-ン」が出る。
9. 矢印キーを押す
  - 画面「復元X=2-」が出る
10. 終了(5)を指定し、5を入力↓
  - 画面真黒「A:羊>」が出る
11. A:羊>の次に format C: /S と入力↓
  - 画面「注意! ハードディスクのフォーマットはデータを破壊する可能性があります (Y/N)?」

12. Y を入力↓

→ 画面「フォーマットが完了しました。3.69Mバイトのディスクをフォーマットしました。」

「1/2-G3n"Uを入力して下さい。」

半角29文字、全角25文字以内

必要時はOK, Enterキーを押して下さい。」

13. Enter キーを押す

→ 画面 「423,075,840 バイトの空き領域があります。  
221,184 バイトをシステムが使用してあります。  
422,854,656 バイトの使用可能領域をディスク領域  
に追加します。  
8,192 バイト : ポール・ジョンド=ト サイタ  
59,618 個 : 使用可能ポール・ジョンド=ト

本1/2-α シリアル番号は 174F-12F4

A: ¥ >

14. A: ¥ > の次に BACKUPCD.EXE を入力 ↓

→ 画面 「バックアッププログラムをセーブします」

15. Enter キーを押す

→ 画面 「復元メニュー」

16. ディスク全体の復元 (1) を選択し、1 を入力 ↓

→ 画面 「出荷時のハードディスクのサイズを復元します  
(表) 出荷時の 128-MB 容量に上書きします。  
よろしいですか (Y/N)?

17. Y を入力 ↓

→ 画面 「ディスク全体を復元していません」

(青) 「しばらくお待ち下さい」

→ 画面 「ディスク全体の復元が完了しました。  
Enter キーを押して下さい」

18 矢印キーを押す

→ 画面「復元メニュー」になる

19. 終了 (5) を選択し, 5 を入力 ↓

→ 画面真黒 「A: >」

Compaq DIAGNOSTICS バージョン PC10.03B-J

日付: 96/05/02  
時刻: 10:33:25

プロダクト: Compaq Presario 520シリーズ (CDTV528)

プロセッサ (486DX2 / 66 MHz)  
数値演算コプロセッサ (内蔵 387 互換 / 66 MHz)

メモリ 4+16 メカニカル + 32MB = 52MB (96.8%) XMSXEM.

キーボード (101-102 or 106 Key)

ポインティング デバイス インタフェース

with ポインティング デバイス

内蔵 16-ビット サウンド, アドレス 220, レビジョン 3.1

パラレル インタフェース ポート

ポート LPT1 (378) ← MJ-800c

ビデオ コントローラ

内蔵 VGA **ディスプレイサイズ 640x480ピクセル**

ディスクドライブ A: - 1.44 メカニカル (3.5 インチ)

ディスク コントローラ 1,

ハードディスク 1 - タイプ 65 (427.1 メカニカル)

1 シリアル インタフェース

COM1 (アドレス 3F8) IRQ4 ← **DNS64**

モデム

14400 半 - FAX付き, COM2 (アドレス 2F8) IRQ3

(Rev. Compaq 14.4 Data/14.4 Fax Modem Version 2.13a)

TV チューナ ポート, (アドレス = B18h)

内蔵 IDE コントローラ, アドレス 0x1f0

Compaq 4 倍速 CD-ROM, ドライブ ホンダ ション 2

(SONY CD-ROM CDU76E-Q, REV 1.0c)

---- ROM レビジョン ----

システム ROM

レビジョン: 95/01/26

ファミリ: 486C3

ビデオ コントローラ ROM

レビジョン: 1.41 (Cirrus)

メモリ: DIMM-P16  
DIMM-P32MB (29,200A)  
16ビットジッタレーズ付  
72pin 70ns  
16ビット両用

1GB (92.5%)  
外付ハードディスク SHD-1000 DV  
(0.5インチ)  
Z=2  
• ドライバ: M1606F-512 (富士通)  
• SCSI インタフェースカード: AHA-1510B  
(アドテック)

追加ディスク増設  
230MB MO  
LMO-420S (0.5インチ)  
96.12.9

196

社名 \_\_\_\_\_

発信日 平成 8 年 8 月 22 日

所属 \_\_\_\_\_

< 発信者 >

名古屋市東区東桜 2-3-3

萩原電機 (株) 機器名古屋営業部

TEL 052(931)3622

FAX 052(931)3754

展覧

担当 \_\_\_\_\_

先日FAXしたご件 1, 2 の御回答をありがとうございました。

1. CPU オークラックアップ - (16MHz → 133MHz) の件

この種の CPU (486DX2 11142) は インテル社の CPU ではなく、AMD 社のもののため 貴社社外に出ている オークラックアップ不可です。又、コンパットサポートセンターに問い合わせたところ純正オプションは無く CPU マニュアルは保証しかかるという回答でした。主要メーカーのマニュアルが揃っていないというのでどこかのメーカーで CPU マニュアルもやっているところはあるかおれませんか 弊社としては、申し訳の無いかもしれませんが御見直し出来ません。

2. メモリ増設の件

この度は前回の FAX の御回答で標準で 8MB です。そしてこれは、

マザーボード上のメモリ 4MB と メモリバンクに 4MB の合計 8MB という内訳です。そして マザーボード上の 4MB は取り出すことが出来ませんので メモリバンクの 4MB を外して

32MB を増設するにしようかと。以下計算上

4MB + 16MB + 32MB = 52MB となります。

そして 32MB のメモリの最低限は VMB-P32M4 定価 ¥39,000 納入価格 ¥29,200 です。

以上

## 障害回避のため SYSFILES の復元

以下のお問い合わせ内容について御報告致しますので御参照下さいませ。  
・起動時にメイングループに登録されているユーティリティが実行され開いた状態になる。

### <はじめに>

起動時のユーティリティ実行を設定するスタートアップには同様の登録がされていないこと及びオプションの「終了時の保存」で事象が解消できないことを確認しました。原因を特定することができませんでしたので、SYSFILES を初期状態に戻しトラブルが解消できるか確認します。

### <現状の SYSFILES の FD への保存>

1. マシンを起動しメインから DOS プロンプトを実行します。FD ドライブには予めフォーマット済みのフロッピーを入れます。
2. DOS 画面にて以下のように入力し [ENTER] を押し SYSTEM.INI ファイルを SYSTEM.SAV ファイルとしてフロッピーに保存します。  
C:¥WINDOWS>COPY SYSTEM.INI A:¥SYSTEM.SAV  
(下線部はコマンドです。実際の下線は不要です。□はスペース1文字です。)  
同様に WIN.INI ファイルを WIN.SAV ファイルとしてフロッピーに保存します。  
C:¥WINDOWS>COPY WIN.INI A:¥WIN.SAV
3. DOS 画面にて以下のように入力、[ENTER] を押しディレクトリをチェンジします。  
C:¥WINDOWS>CD □ ¥
4. DOS 画面にて以下のように入力、[ENTER] を押し AUTOEXEC.BAT ファイルを AUTOEXEC.SAV ファイルとしてフロッピーに保存します。  
C:¥>COPY AUTOEXEC.BAT A:¥AUTOEXEC.SAV  
同様に CONFIG.SYS ファイルを CONFIG.SAV ファイルとしてフロッピーに保存します。  
C:¥>COPY CONFIG.SYS A:¥CONFIG.SAV
5. ファイルを保存したフロッピーをドライブから抜きます。

### <初期の SYSFILES の復元>

1. DOS 画面にて以下のように入力、[ENTER] を押しディレクトリをチェンジします。  
C:¥>CD □ SYSFILES
2. DOS 画面にて以下のように入力し [ENTER] を押し初期の SYSTEM.PRE ファイルを現状の SYSTEM.INI ファイルに上書きします。上書きするかどうかのリプライには [Y] で応えます。  
C:¥SYSFILES>COPY SYSTEM.PRE □ C:¥WINDOWS¥SYSTEM.INI
3. 同様に初期の WIN.PRE ファイルを現状の WIN.INI ファイルに上書きします。上書きするかどうかのリプライには [Y] で応えます。  
C:¥SYSFILES>COPY WIN.PRE □ C:¥WINDOWS¥WIN.INI
4. 同様に初期の AUTOEXEC.PRE ファイルを現状の AUTOEXEC.INI ファイルに上書きします。上書きするかどうかのリプライには [Y] で応えます。  
C:¥SYSFILES>COPY AUTOEXEC.PRE □ C:¥AUTOEXEC.BAT
5. 同様に初期の CONFIG.PRE ファイルを現状の CONFIG.INI ファイルに上書きします。上書きするかどうかのリプライには [Y] で応えます。  
C:¥SYSFILES>COPY CONFIG.PRE □ C:¥CONFIG.SYS
6. DOS 画面にて以下のように入力し [ENTER] を押し DOS プロンプトを終了します。  
C:¥SYSFILES>EXIT
7. TABWORKS を終了しマシンを再起動します。
8. トラブルが解消されているかどうか確認します。

今回の作業で必ずしも障害が回避されるわけではありません。もし解消されなかった場合は別売りのバックアップディスクよりシステムの再インストールを行う必要があります。トラブルが解消されなかった場合、また、内容について不明な点などございましたら Presario サポートセンターまでご連絡下さい。

① インストール直後



96.7.10.(水)

Windows 95

再インストール

コンピュータのインストールのサポートセンター  
(0120-505589)

水曜日のための接続良好。

デスクトップの「ネットワーク接続」のアイコンを作成

96.9.10.

1. スタートボタン → 設定 → 「コントロールパネル」をクリック  
→ 画面「コントロールパネル」
2. アイコン「ネットワーク」を選択  
→ 画面「ネットワーク」
3. 右の「ネットワークの設定」の「Microsoft ネットワークアダプタ」を選択（青色反転）し、ボタン「追加(A)」を押す。  
→ 画面「ネットワーク接続アダプタの追加」
4. 「アダプタ」を選択し、「追加」ボタンを押す。  
→ 画面「ネットワークアダプタの選択」
5. 製造元を「Microsoft」を選択し、ネットワークアダプタを「Microsoft ネットワークアダプタ」を選択する
6. 「OK」・「OK」ボタンを押して以下の画面を消す。  
→ 画面「ネットワーク」に戻る。
7. 右の「ユーザ情報」をクリックし、2つの項目を設定する  
コンピュータ名: Compag  
ネットワーク名: Suzuki Yokikai  
コンピュータの説明: (空欄)など
8. 「OK」をクリック  
→ 画面「コントロールパネル」に戻る。  
→ デスクトップの「ネットワーク接続」のアイコン作成。



# ディスプレイ画面の設定変更方法

96.9.10.

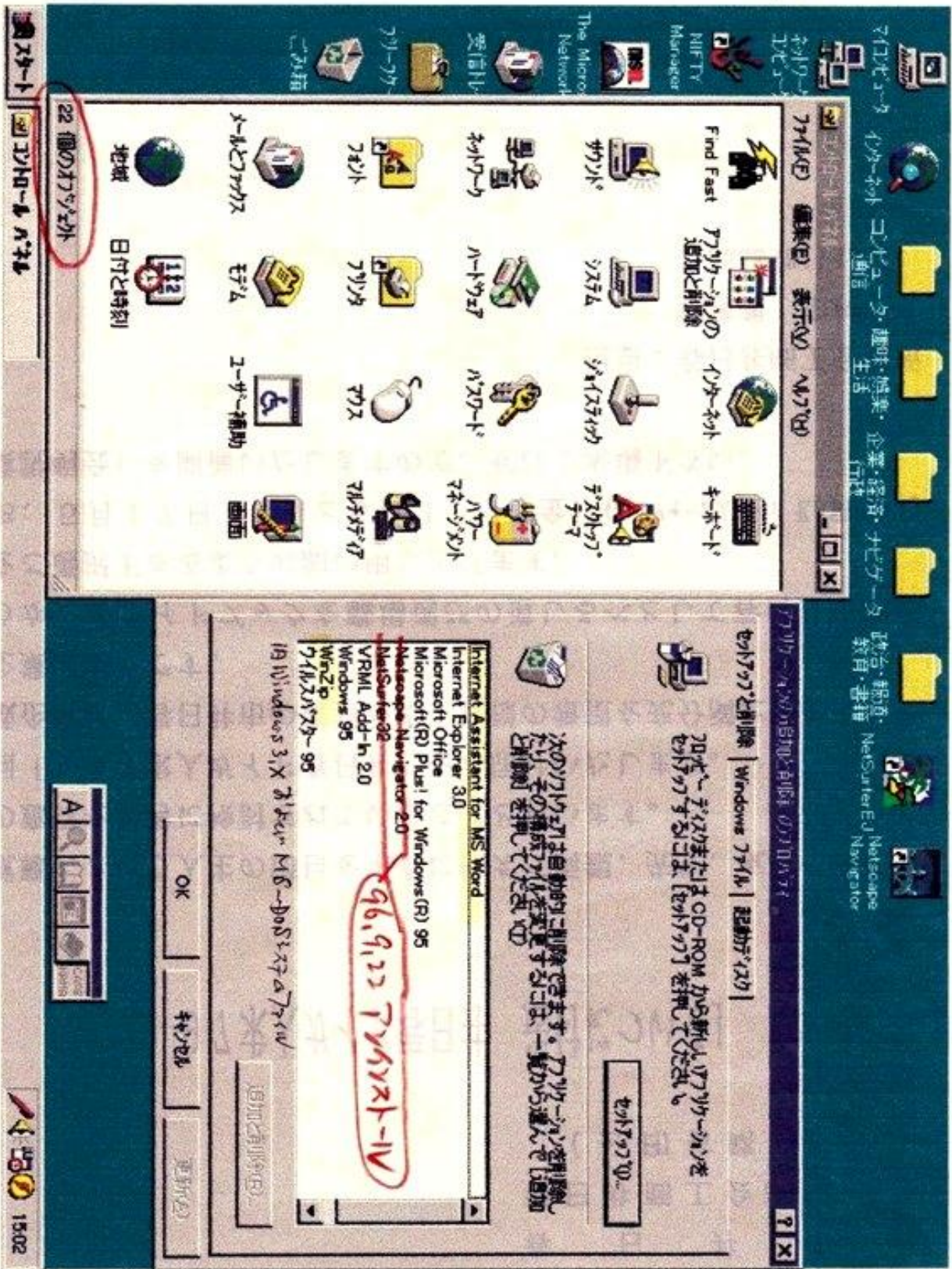
1. 「スタート」ボタン → 「設定」 → 「ディスプレイ」をクリック。  
→ 画面「ディスプレイ」
2. 下にあるアイコン「画面」をクリック。  
→ 画面「画面の属性」
3. タブ「背景」をクリック
4. 「模様」なし, 「壁紙」なしを選択 (青色反転表示)  
「表示位置」  全体
5. タブ「スクリーンセーバー」をクリック
6. スクリーンセーバー(D)の選択 → 設定(T) → フレーム(V)で確認
7. 実行時の待機時間(W)を設定し, 「OK」ボタンをクリック
8. タブ「ディスプレイ」をクリック (設定も設定せず)
9. タブ「ディスプレイの詳細」をクリック
10. ディスプレイを一部変更

項目	インストール直後	変更後
① カラーパレット(C)	256色	←
② ディスプレイ領域(D)	小: 640x480ピクセル	大: 800x600ピクセル
③ フォントサイズ(F)	標準フォント	←

「変更」ボタンをクリック → 画面「フォントサイズの変更」が出る。  
 (「標準フォント」に対する増減率100%。  
 10ポイント-MSPフォント-96ピクセル/インチ) 「OK」ボタンをクリック

- ④ ボタン「ディスプレイの変更(T)」をクリック  
 → 画面「ディスプレイの変更」が出る。内容は以下の通り。
- ディスプレイの種類: Cirrus Logic  
 製造元: Cirrus Logic, 12ビット: fio  
 ドライバファイル: Cirrus.drv.\*vdd.\*vflatd.Cirrus.vxd
  - ディスプレイの種類: Super VGA 800x600

96.9.22,





96.9.27.

NetScape プリントアウト  
4.5のインストール後、  
重要ファイル削除した。

原因不明のアクセス不可  
状態を解消した後、  
Windows 95 + Plus! の  
再インストール。

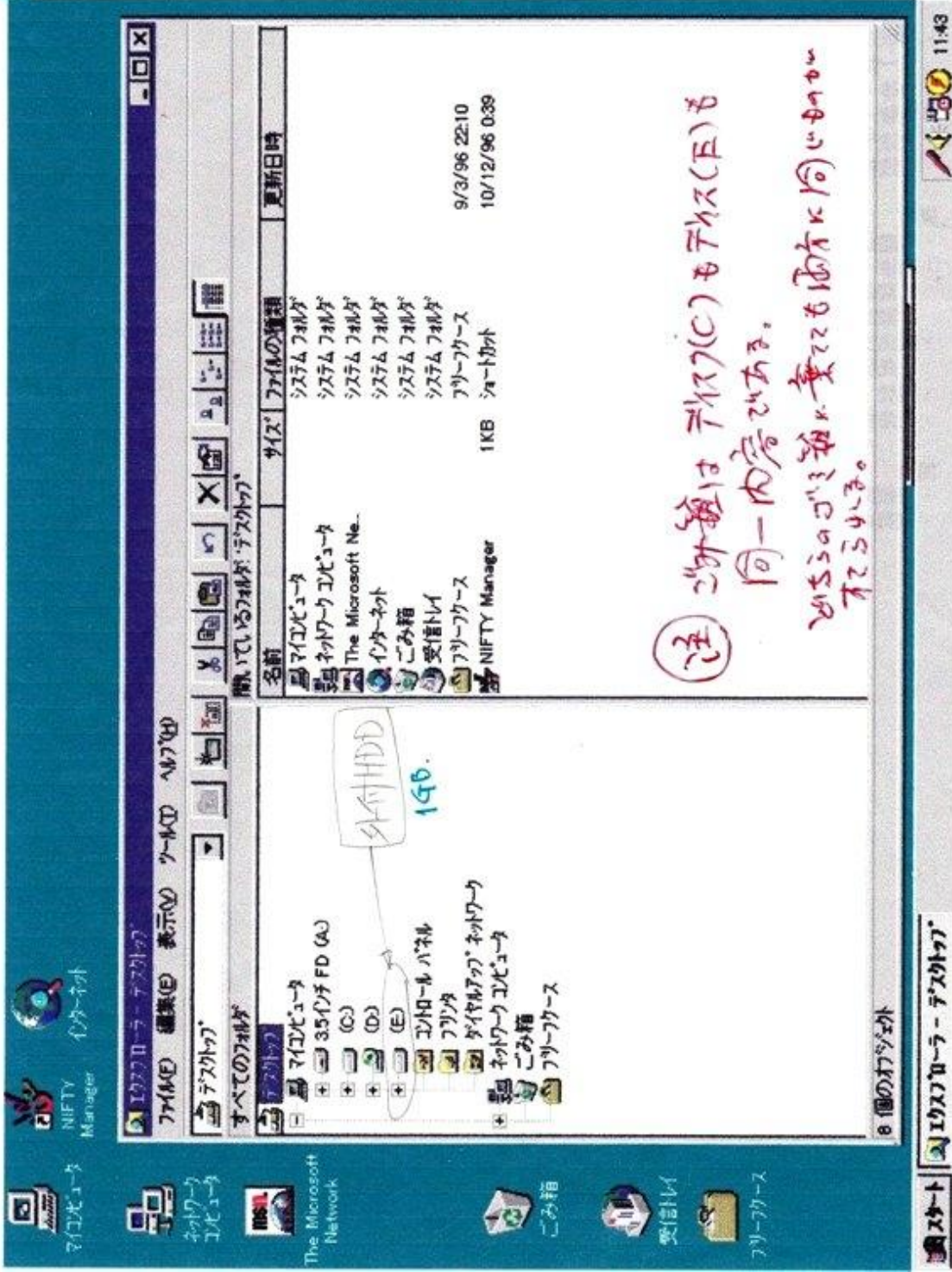
96.10.10.

その後、Office 95  
インストール、HDD容量  
チェック 30~40MB追加  
インターネット接続  
など、1989 HDD 追加

SCSI 外部ディスクと  
ハードディスクの  
インストール後、  
インターネットを  
整理した。

96.10.28

Win95 再インストール



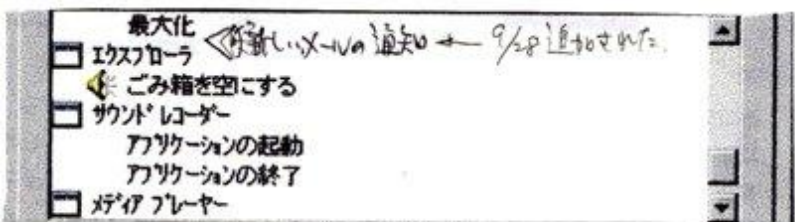
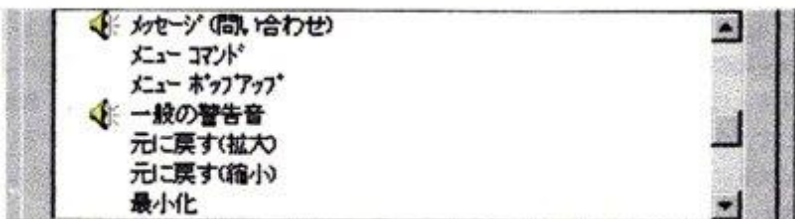
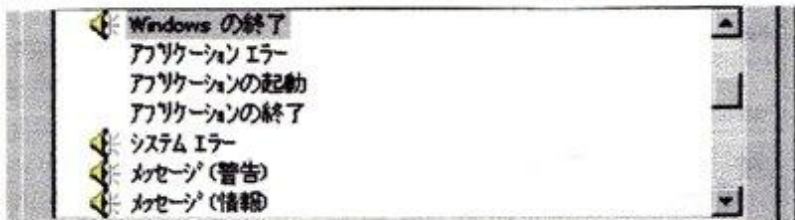
スタート → 設定 → コントロールパネル → サウンド

96.9.28.

標準のサウンド設定



1. 一般の警告音 Ding.wav (F)
2. Mail Beep " " (H)
3. Schdplus Reminder: Chimes.wav  
C:\Windows\System32\More reminders.wav (F)
4. Windowsの起動: Tada.wav (F)
5. Windowsの終了: The Microsoft Sound.wav
6. システムエラー: Chord.wav (F)
7. メッセージ(警告): " "
8. " (情報): " "
9. " (問い合わせ): " "
10. 一般の警告音 Ding.wav (F)
11. 新しいバージョンの通知 " "
12. ごみ箱を空にする: Chimes.wav (F)



アプリケーションの起動  
アプリケーションの終了

取

5. Windowsの終了 → The Microsoft Sound.wav
4. " の起動 → Tada.wav.

スタート → 設定 → コントロールパネル → システム

96.9.28

△ 96.10.10. 0K  
1GB HDD 外付完了  
ドドライブ(F)

システムのフロッピー

情報 | デバイスマネージャ | ハードウェア環境 | **パフォーマンス**



システム:  
Microsoft Windows 95  
4.00.950  
Microsoft Plus! for Windows 95

使用者:  
[Redacted]


26495-oem-0004611-27255  
39579-255-5300411-76947

製造およびサポート元:  
**COMPAQ**

Compaq Computer Corporation  
80466  
52.0MB の RAM

システムのフロッピー

情報 | デバイスマネージャ | **ハードウェア環境** | パフォーマンス



ハードウェアの環境設定を作成することができます。  
作成した設定は、起動時に選択できます。

通常、ハードウェア環境を作成する必要はほとんどありません。  
詳しくは、ヘルプを参照してください。

Original Configuration

[Empty box]

名前の変更(B)...

削除(D)

OK キャンセル

システムのフロッピー

情報 | デバイスマネージャ | ハードウェア環境 | **パフォーマンス**

パフォーマンスの状態

メモリ:	RAM 52.0 MB
システムリソース:	78% の空き
ファイルシステム:	32ビット
仮想メモリ:	32ビット
ディスク圧縮:	インストールされていません
PC カード (PCMCIA):	PCMCIA ソケットはインストールされていません

このシステムは、最適なパフォーマンスが実現できるように設定されています。

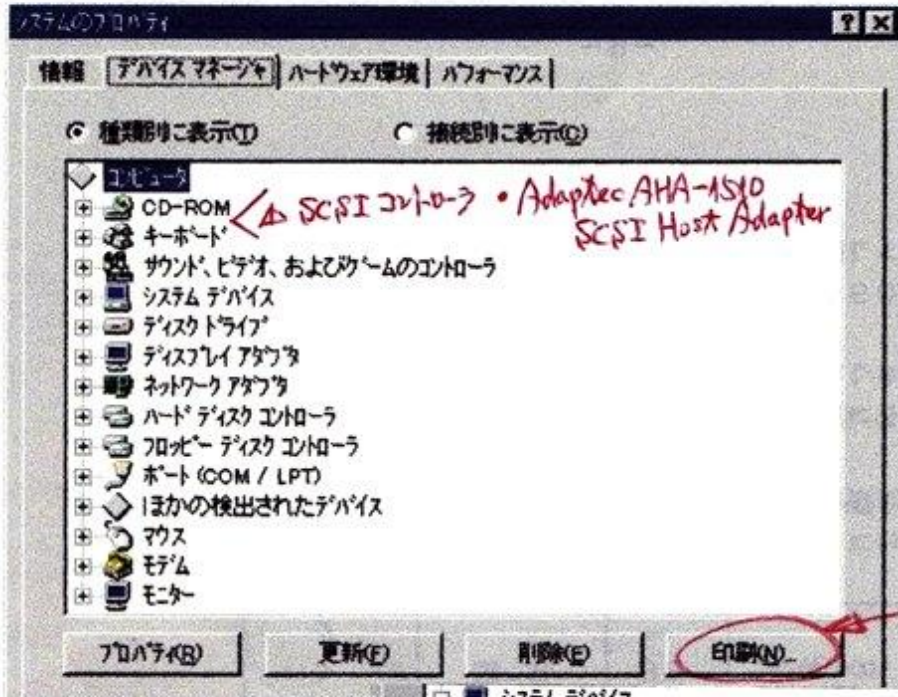
詳細設定

ファイルシステム(F)...    グラフィックス(G)...    仮想メモリ(V)...

OK    キャンセル

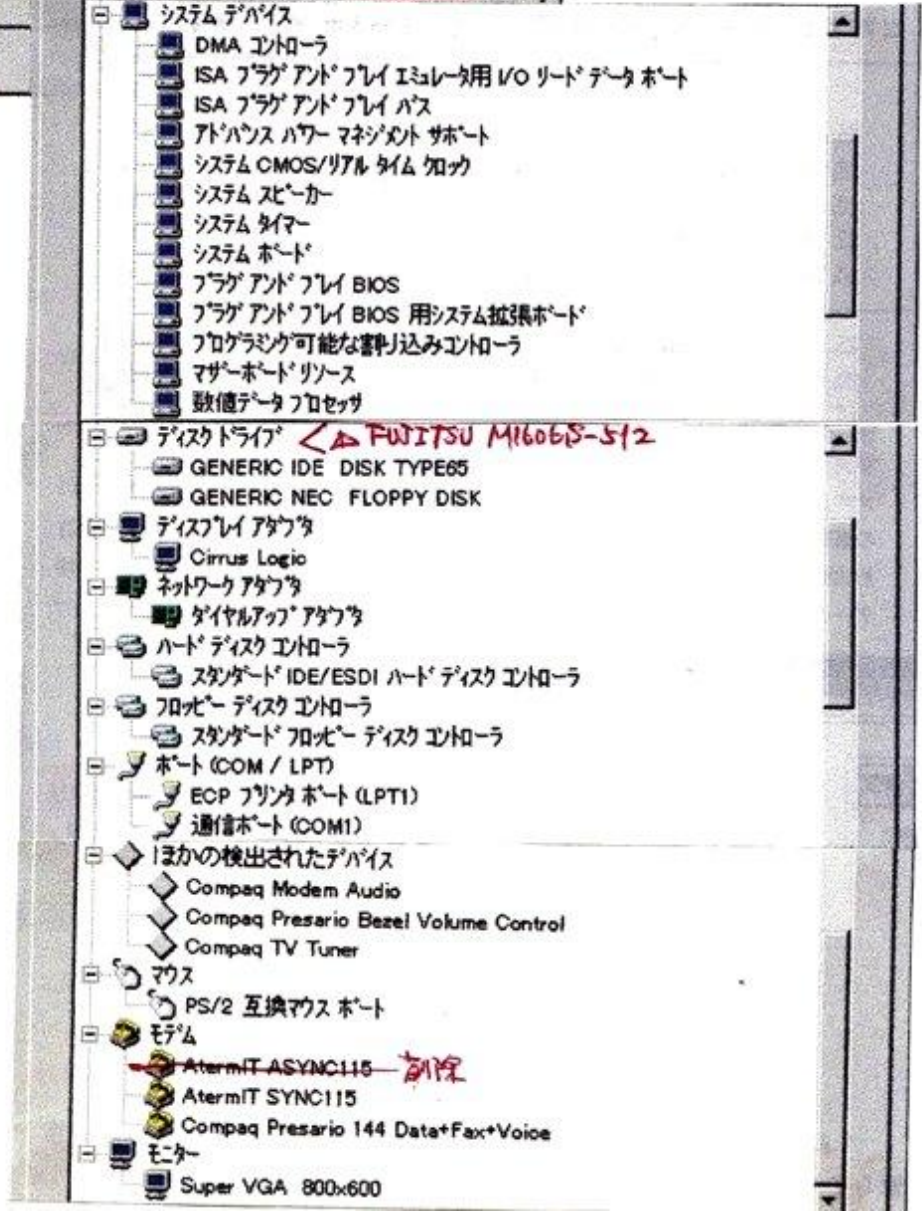
14.WD.C07526

HD  
96,10,10, 1GB 9.5分



- CD-ROM ; SONY CD-ROM CDU76E-Q
- キーボード ; 106日本語(A01)キーボード
- サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ ; ESP ES688 Audio Drive

別紙参照



96.10.27, Win 3.1 A7本-マナ

+ Win95 2本-マナ (失敬)

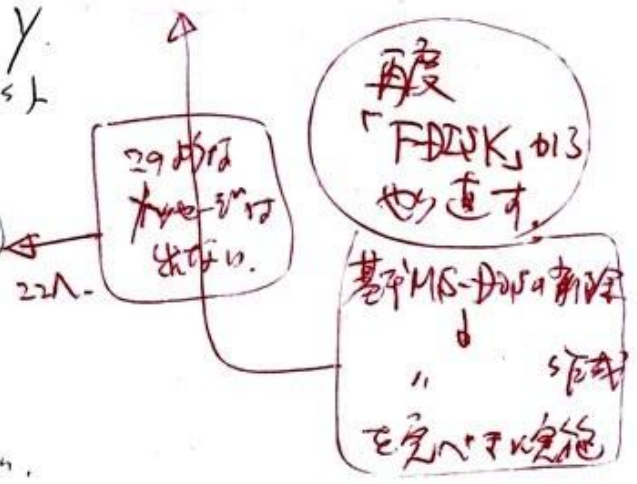
11.9 A:\>format C: /S

- 注意! 11-ドディスクのフォーマットは必ずしも成功しない。フォーマットエラー(Y/N)? Y.
- ディスクの現在のフォーマットを調べたい。FATフォーマットの種類を調べる。

12.9 ドラッグC:エラ-です。フォーマットに関する情報は読み取れません。フォーマットエラー(FAT)を修正する。このディスクはFATフォーマットです。

フォーマットエラー(Y/N)? Y.  
照会してください 403.69MB/s

実行状況表  
フォーマットエラー



13.9 フォーマットは完了した。エラーが修正された。

ボリュームラベルを入力してください。

半角の11文字以内

必要ならば Enter キーを押して OK を押す。 → Enter ↓

- 423,075,840バイトの容量を領域に割り当てる。22,184バイトを領域に割り当てる。
- 422,854,656バイトの使用可能領域に割り当てる。8,121,184バイト
- 51,184バイト
- ボリュームラベル 384F-1BE4
- ボリュームシリアル番号 0B7C-19D9

14. A:\> Backupd.exe ↓



